

## 生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた地球戦略

20110912@人と自然との共生懇談会  
小長谷有紀(国立民族学博物館)

## モンゴルにおける人と動物の関係

1. 生業儀礼→自然観
2. 生業技術→人類史・食文化
3. 近代化(社会主義化)
4. 現代化(グローバリゼーション)

## 生物多様性国家戦略

すでに第3次(1997、2004、2010)

第一部第二章第四節 基本戦略

1. 生物多様性を社会に浸透させる
2. 地域における人と自然の関係を再構築する
3. 森・川・里・海のつながりを確保する
4. 地球規模の視野を持って行動する

## ネオ全総に相当

全国総合開発計画(一全総)1962→1970  
新全総(二全総)1969→1985  
三全総1977~1987  
四全総1987→2000  
21世紀の国土のグランドデザイン(五全総)  
2010-2015

## 国土利用をデザインするとき

生物多様性を知ると?  
地域において自然との関係ができるか?  
森・川・里・海のつながりができたら?  
地球規模の視野を持って行動するのは誰?

→国土を利用するユーザーの視点が欠落しているのではないか……

## (国民の)人生をデザインする!

幼児期から自然に親しむ  
学童期に自然を学ぶ  
思春期に自然を敬う  
成人期に自然を畏れる  
壮年期に自然に浸る  
老年期に自然に親しむ

「自然資源を利用すれば人生が豊かになる」  
というライフスタイルを提案する

## Eco-based Life Design

「沿岸地域の自然復元力を観察すること」

楽しみを研究者が独占している

→子どものとき、研究者と共に裸足で歩いて観察する

→これまでのような開発が行われないように、社会経済状況を整えて非開発を開発する

## Sustainable Dev.に代わる表現

User-oriented Ecological Development

Nature-based Human Development

Ecology based Life Development

Ecology based HD

Ecology oriented HD

Ecology ≡ 自然との共生

LD/HD ≡ 人生展開

人と自然の動的平衡

## モンゴル



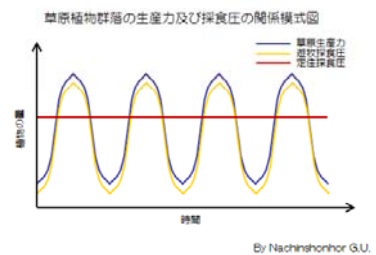
## 中国内蒙古



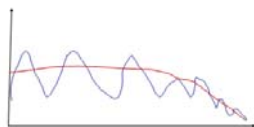
## 密度の違い



## 移動の意義



### 定着化による草原の劣化



### モンゴル国における現代化

1. 土地の私有化・定着化
2. 鉱産資源開発
3. 農業化
4. ヤギ化

### 土地の私有化



### 定着化



### 鉱産資源開発



### 鉱業開発荒廃



## 農業化



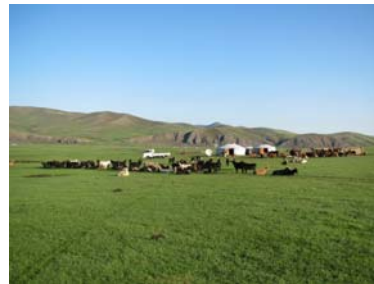
## 農耕放棄地



## ヤギ



## ヤギ



## 野生動物(ハゲタカ)

